

片桐竜子 教育者。女学校設立し全国を講演行脚したり著述活動するも、戦後公職追放され道を断たれた。

かたぎりりゅうこ

帝国議会始・1890 = 愛知県北設楽郡園村(東栄町)に生れる。原田定十・いとの娘。

7人兄弟の末子として、山持ちの裕福な家で養育された。

日清戦争始・1894 = 4歳 :

白馬会・・・1896 = 6歳 : **盆踊りの大提灯が頭上に燃え落ちて大火傷を負ったが、母の手厚い看護のお蔭で奇跡的に全快し、奉仕に生きる機縁となった。**

Bushidou・・・1899 = **9歳** :

日露戦争終・1905 = 15歳 :

アライ' 創刊・1908 = **18歳** :

韓国併合・・・1910 = 20歳 : **東京の渡辺女子専門学校(東京家政大学)を卒業。**

明治天皇没・1912 = 22歳 :

民本主義・・・1916 = 26歳 : **岐阜市の片桐竜三郎と結婚。**

ロシア革命・1917 = **27歳** :

本格政党内閣1918 = 28歳 : ***岐阜裁縫女学校を設立し、**

原敬首相暗殺1921 = 31歳 :

治安維持法・1925 = 35歳 : ***岐阜実科高等女学校と改称、竜三郎が校長に就任した。**

円本時代始・1926 = **36歳** : **月刊誌{御国の華}を発刊、**

竜子は全国の恵まれない人たちのために役立ちたいと願い、講演に出かけ、また盛んに著述活動を行った。「日本婦人の使命と其の修養」「天界地界」「心の華」「国境を越えて」「黎明の丘」「宝寿」「真生命の光」「姫かがみ」「万寿華」その他多数の著書を発刊。

満州事変・・・1931 = 41歳 :

芥川直木賞始1935 = **45歳** : **国家も家庭も平和で幸福になることを目標とする{道の華}を発刊、**

日中戦争始・1937 = 47歳 :

大政翼賛会・1940 = 50歳 : ***{御国の華}{道の華}を終刊。片桐高等女学校と改称後、夫竜三郎が死去し、校長に就任。**

日米開戦・・・1941 = 51歳 :

年金+総武装 1944 = **54歳** :

敗戦・・・1945 = 55歳 : ***敗戦後、公職追放で教育活動を禁止され、教壇にも立てず講演もできなくなり、**

学校は1人息子の登喜夫の死後、その妻孝が後を引き継いだ。

独立回復・・・1951 = 61歳 :

テレビ放送始・1953 = **63歳** :

安保闘争・・・1960 = 70歳 :

全国総合計画1962 = **72歳** :

TV宇宙中継始1963 = 73歳 : **没した。**

校庭の一角には竜子の銅像と世界平和記念の塔が建っている。